

ニュースレター目次

□ インパクト調査結果ダイジェスト

活動のアップデート

- 2020.8
 - 《シェムリアップ州》
 - ・ビジネス研修セッション 10 実施
 - 《コンポントム州》
 - ・パイロット活動の PDM/PO 検討
 - 《トボークモム州》
 - ・計画ワークショップ実施準備
- 2020.9
 - 《コンポントム州》
 - ・パイロット活動の PDM/PO 案作成
 - 《トボークモム州》
 - ・計画ワークショップ開催、PDM/PO 案作成
- 2020.10
 - 《シェムリアップ州》
 - ・ジェンダーセッション 11 実施
 - 《コンポントム州、トボークモム州》
 - ・パイロット活動の PDM/PO 案精査
 - 《観光 PR 支援動画の撮影》
- 2020.11
 - 《コンポントム州、トボークモム州》
 - ・パイロット活動の PDM/PO 案協議
 - 《コロナ禍インパクト調査の実施》
 - 《衛生管理セミナーの開催》
 - 《観光 PR 支援動画の撮影》
- 2020.12
 - 《コンポントム州、トボークモム州》
 - ・PDM/PO ワークショップ実施準備
 - 《コロナ禍インパクト調査とりまとめ》
 - 《衛生管理セミナーのオンライン開催》
 - 《観光 PR 支援動画の編集》

JICA ホームページ、JICA カンボジア事務所の Facebook でも随時活動を紹介しています。
<https://www.jica.go.jp/project/cambodia/023/index.html>
<https://www.facebook.com/JICACambodia/>

特集：インパクト調査結果ダイジェスト

-観光業に携わる女性への COVID-19 による影響-

プロジェクトでは、COVID-19 の影響に対応した支援として、シェムリアップ州とコンポントム州の観光分野で働く女性に着目し、コロナ禍による女性へのインパクトを把握し、必要な支援ニーズを特定するための実態調査を実施しました。3 月を目途に調査報告書を取りまとめる予定ですが、今回のニュースレターでは、調査結果の速報をお知らせします。

◆調査方法と調査対象者

調査方法	調査対象者	調査数	
		女性	男性
質問票調査	・観光関連民間企業(ホテル、飲食店等)の管理職	11	13
	・CBT(地域が主体的に推進する観光)のメンバー	53	46
	・CBT リーダー	1	5
	・村長	1	4
	・観光業の女性自営業者、起業家	121	0
	・観光業に従事する女性	130	0
インタビュー調査	・政府関係者、DPs、NGO 等	16	5
	・観光業に従事する女性	30*	0
	・観光業に従事する女性の配偶者/パートナー	0	11
合計		363	84

*質問票調査回答者のうち、30 名を対象

1. COVID-19 による影響で最も困難を感じていること

COVID-19 によって困難を感じていることは、「家計への影響」と回答した女性が最も多く、次に「健康維持」や「ビジネスへの影響」が続いています(図 1)。さらに、9 割以上の人が「収入が減った」と回答しており、「収入が全くなくなった」という回答も約 1 割程度ありました。

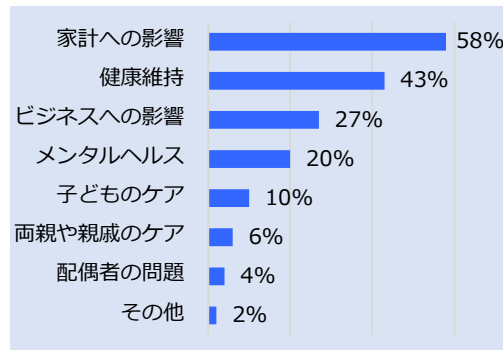


図 1: COVID-19 の影響(N=282 複数回答)

COVID-19 によって観光客がいなくなり、物が売れず店も開けられない状況が続く(図 2)、経済的に大きな打撃を受けていることがわかります。そして、将来に不安を感じている人が 9 割を超えている状況です(図 3)。

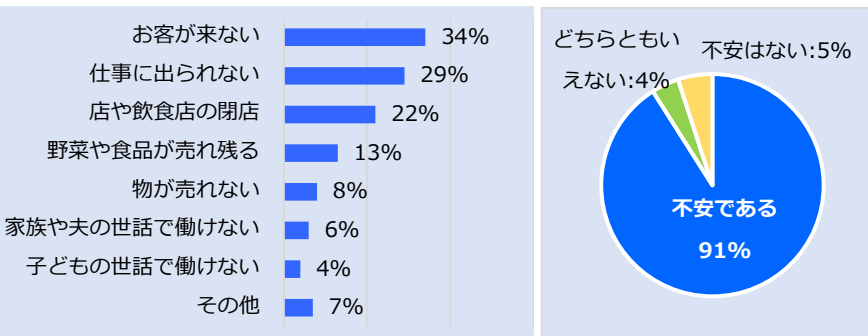


図 2: ビジネスへの影響(N=282 複数回答) 図 3: 将来のビジネス/雇用への不安

2. 夫との関係や家族への影響

結婚している女性の回答者のうち、COVID-19によって夫との関係にネガティブな影響があったと回答した女性が13%いました(図4)。一方で、ポジティブな変化があったとする女性も25%おり、具体的には、「夫が家事や子どもの世話、ビジネスを手伝ってくれた」という回答が多くなっています(図5)。

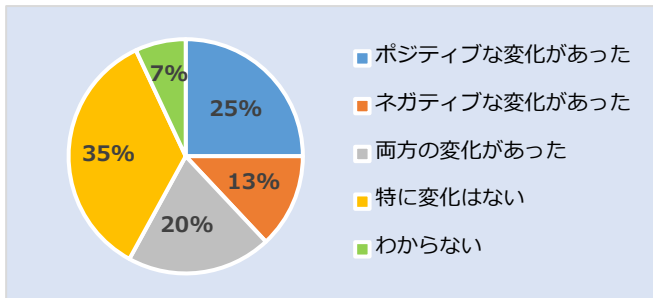


図4:夫婦間の関係への影響(N=131)

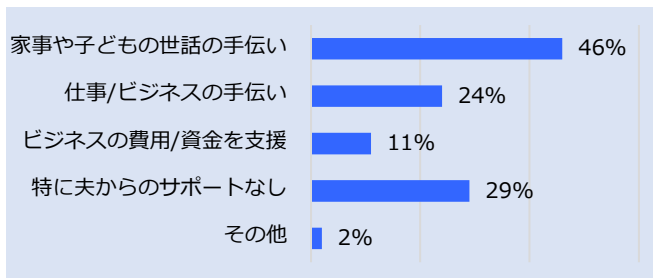


図5:夫の協力やサポート(N=131 複数回答)

COVID-19の感染拡大に起因する生活不安やストレスなどによる家庭内暴力(ドメスティック・バイオレンス)の増加や深刻化が世界的に懸念されています。そこで今回の調査では、夫の態度の変化についてたずねました。COVID-19以前と比べ、「特に変化はない」という回答が半数を占める一方で、「以前より態度が攻撃的になった」とする回答が36%と多く(「よく怒鳴り攻撃的になった」、「時々攻撃的になる」を合わせた回答割合)、注視する必要があります。

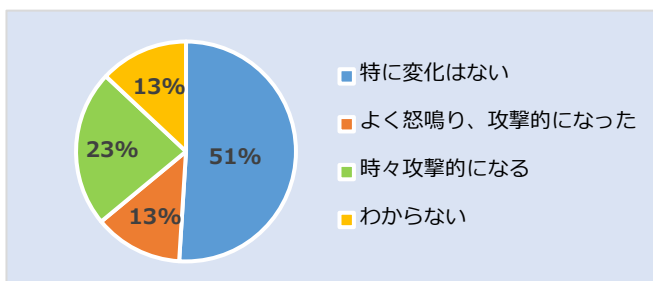


図6:夫の態度の変化(N=131)

3. 必要な支援策

COVID-19による経済的打撃から、ビジネスや子どもの教育、借金返済等に対する経済的支援へのニーズが高

いことがわかります。スキル習得のための研修や雇用創出などへの要望も多く、仕事や家庭生活に関する相談体制の整備なども望まれています。

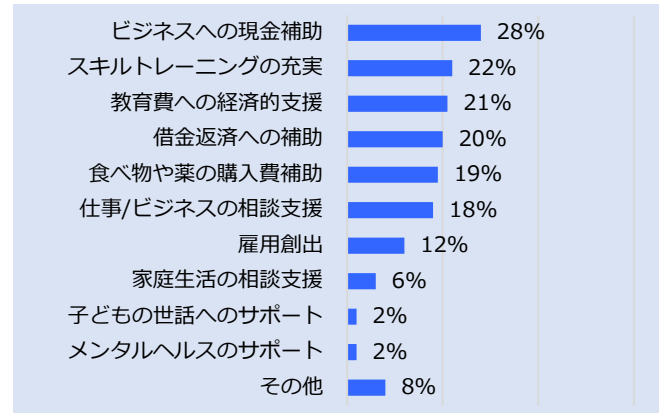


図7:必要な支援策(N=286 複数回答)

コロナ禍によるカンボジア経済へのダメージは大きく、観光セクターの民間企業へのインタビューからは、スタッフ給与が30-50%カットされるなど、観光客減少による影響が深刻なことがわかりました。CBT(コミュニティベースドツーリズム)のエリアでも、外国人訪問客がいないため、ビジネスが成り立たず困難を極めている状況が明らかになっています。また、COVID-19に関する情報が地域住民へ十分に伝わっておらず、どのような対策をしたらよいかかわからないという懸念があることもわかりました。

プロジェクトではこのような状況を少しでも改善できるように、観光省や女性省と連携し、2州で観光セクターに従事する女性を対象に、COVID-19の感染予防や拡大防止に関する衛生管理セミナーを実施します。COVID-19収束後は、観光客が安心して再来できるよう環境を整えるため、セミナーで得た知識を活用してほしいと思います。さらに、2州へ国内外からの訪問客が早く戻ってきもらえるように、両州の観光の魅力や観光業に従事する女性たちの活躍の様子を伝える観光PR動画も作成中です。

一日も早くこの事態が収まり、ウィズ/アフターコロナの中でもカンボジアの観光セクターに従事する女性たちの日常生活が再び活気あるものとなるように、少しでも対応できることを進めていきたいと思っています。



衛生管理セミナーの実施



観光PR動画の撮影